



05 Lifestyle

男たちよ目覚めなさい

イラスト/ユリコフ・カワヒロ

Theme

ライバルへの嫉妬との付き合い方

自

分が一番でありたい男の嫉妬は強烈です。自分よりも若く有能で、しかも女性にモテるイイ男という後輩が視界に入ってきた時、あなたはどのような反応をしますか？

笑顔を作り大歓迎という寛容な態度を見せながらも、心の片隅に黒っぽい嫉妬が渦巻くという葛藤と一度や二度くらいは翻つてきたLEON読者は少なくないのではないかしら。

もてあます嫉妬の感情とどのように付き合おうか？

ひとつの國を閉ざした見えないがしたので紹介します。その男はオペラ歌手。人気・実力とも誰もがナンバーワンと認めるぶつちぎりのバリトンのスターです。数年後、彼とは同じレパートリーを歌う、育ちの良い好青年のバリトンが名を上げてきました。その一年後、韓流スターかと思まがう美貌と美声を兼ね備え、しかも性格が三枚目という最高に女性ウケする第二のライバルがのし上がってきました。さらにその半年後、数カ国語で歌うことができるインテリのうえに、愛くるしい美貌にまで恵まれているというひと回り下のバリトンが登場しました。

彼のもやもやたるや。遠からず自分の地位を脅かしそうな後輩ライバルたちの活躍ぶりを見るたびに、「つぶすやう」という思いがこみあげます。

しかし彼は賢かった。嫉妬を自覚しながらも、「つぶす」ところをむしろ逆の行動に出たのです。ライバルたちに

話しかけ、面倒を見る。いろいろな場で引き立てる。そうして相手のために尽くしているうちに不思議と好意が生まれます。後輩たちも彼によくしてもらうことで、彼を慕い、恩返しをしようとしています。そうこうするうちに、彼のなかの嫉妬も薄らいでいき、気がつけば、世界でも例のないバリトン4人のユニットを結成するまでに仲良くなっていました。ファブ・フォー（素敵な4人）の威力は大きく、公演をすれば各人のファン×4という数のファンが来るのだから興行的にも大成功。翻つて、それぞれのソロでの人気もウナギ登り。彼は以前よりも多くのファンを獲得するにいたりました。

ライバルは、つぶすよりもむしろ積極的に組むと、利益が多いことに「目覚めなさい」。感情のコントロールが必要なのは最初だけ。にくきライバルのために尽くす自分を面白がる。心を疲弊させず、キャリアを長持ちさせる秘訣です。

カトリーヌ10世 Catherine X

Profile グローバリ化が進む社交界事情にも通じる。密かな趣味は人間観察とコスプレ。好きな飲み物はモンラッシュ。日本ではほとんど知られていない、ある小国の女王とのウワサも？

